

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2009 年 4 月 26 日現在

概況 ワシントン州東部の 4 月 26 日に終る 1 週間は、週半ばまで日中の最高気温は上昇したが、週後半に向い気温は急激に下がる気象となった。1 週間を通して降雨は殆ど無く乾燥した気象であった。E. Cent 地区の最高気温は 80～84 度 F となったが、最低気温は 24～31 度 F と低かった。SE 地区に於いての最高気温は 75 (Pullman) ～86 度 F、最低気温は Walla Walla にて 36 度 F であったが、他の観測所では 20 度 F 台であった。降水は殆ど記録されなかった。1 週間の州平均農作業稼働日数は 6.1 日 (前週:5.4 日) となった。Topsoil の土壌水分は “Surplus” が減少した。Subsoil の水分は 5 年平均より低い状態となった。E. Cent 地区では各地で圃場にて乾燥が進んでいるとの報告があった。冬小麦の順調な栄養生長の為に更に降雨が必要であった。Lincoln 郡では冬小麦の圃場の再播種が進んだ。SE 地区区 (Palouse 地方) では、好天の下春小麦の播種が順調に進んだ。Walla Walla 郡の冬小麦は非常に良い作柄と報告された。Whitman 郡の春小麦の播種は全地域で進み、50%にて完了と報告された。気温が週半ばから急激に下がり、春小麦の出芽が遅れていた。冬小麦の作柄は前週より多少落ちたが、春小麦の作柄は前週より改善した。

土壌水分及び灌漑用状況 (*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	4	15	73	8
	5-Yr Ave.	1	13	72	14
Subsoil	This week	6	39	51	4
	5-Yr Ave.	7	22	67	1
Irrigation	This week	0	2	95	3
	5-Yr Ave.	3	5	88	4

冬小麦の作柄状況 (*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	6	13	34	39	8
Last week	7	11	33	42	7

春小麦の生育状況 (*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Planted	64	44	59	78
Emerged	20	7	33	50

春小麦の作柄状況 (*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	1	66	33	0
Last week	0	0	74	26	6

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, National Agricultural Statistic Service, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2004, 2005, 2006, 2007 and 2008 Crop year.